

扇小 元気な作品集

令和8年度（52年目）

⑩ こんぎつねの次の4物語を考えよう。

テスト

（つづきから糸田く出ていました）一兵士はこういしました。
いつもくりをくまえたごんを自ろう。でしめたのですから。その
とき、ごんは兵士のてきせつな手あてで助かりました。「いや、
い、くりしたよ、まさかごんがくりをとどけてたなんてな。」兵士は
ごんよりもずとはんせいしていたのです。一兵士はその後、
今の話を加且かに話しました。「このごろの不思議に、ことが
ある。チャー言はな、どうなってるん」「ごんだ。」ごん？加且か
はぐいをななめにかたむけました。「小ぎつねた、おれと同
しひとりぼっちでなら。」加且かは今の話をす、かりうをかと思
っていました。きつねがくりを持てくるわけありませんもの
なうん。」そのまま2人は家へ帰って行きました。家に帰ると
家の前でごんがくりを殺していました。うたえたせいで足
がまた曲かっています。「ごん、うちの子になるか？」ごんは
何を言います。へんなしょうがなん。」とぐいをななめにかた
むけました。「もしおれの子になるとする、おれんちあ、とんか
がしに、あしに、川でっ。たうなき、こころかな含飯たぬ」
ごんは鼻息で「ふん」とこたえました。兵士はうんしろうに
「ごん、今日はうなきとするかあ。」ごんは「まおろしはつきを
くするか。」と思っていました。一その夜はひどい雨でした。
ごんは、あなに、行くのもちとくうう。ごんは首をさすりな
か、おれに、おれに落ちました。

⑪ こんぎつねを書き出すと、ごんとごん言はうかんと来
た、今はしあわせエピソードを書いてみた。



四年生の子に見せてもらいました。自主学習
で「こんぎつね」の続きを考えてきたそうです。
これを授業で使う時が来たのです。